

みんなの家 ななくさだより NO22

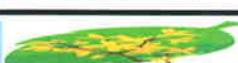


2009年 4月28日

700-0056 岡山市北区西崎本町1-7

TEL&FAX 086-253-8988

March



待ちわびた 便りが届く さくら咲く

花見の会



スタッフから

近くの三門公園に花見に出かけました。天気は快晴で桜も満開。とても良い花見日和で、他に花見に来ている方も多数いて、春の訪れを皆待ちわびていたようでした。去年同じ場所で花見をしましたが、過ぎ去ったこの一年がとても長かったような、短かったような不思議な感覚を覚えました。新しい出会いや別れ、様々な変化がありました。そうした変化がこれから的一年を、より良いものにしてほしいと願わざにはいられません。舞い散る桜に「きれいだな～」と笑顔の利用者。そんな笑顔と桜に癒された春の一日でした。直幸



NさんとHさんの談話から

花見の席でNさんとHさんがしみじみと語りました。花見の会場となった「みかど公園」は、その昔「三門少年鑑別所」と言われた施設の跡地にできた公園なのです。30数年前、この鑑別所を建て替えるという話が持ち上がり、日ごろ反目しあう地域住民たちが結束して反対運動を起こしたのです。その中にあったのがななくさ利用者のHさんであり、当時支援団体のNさんだったのです。「Hさん、もう40年近くなるなあ、東京の法務省まで行って役人を相手に交渉したなあ」「ほんまじゃあ、よう覚えとる」とHさん。「どこかの放送局主催でやつる旭川土手の桜よりみかど公園の桜のほうがなんぼもええ、値打ちがある」とNさんは言います。地域住民の暮らしにとっての安心と子どもやお年寄りが安全に楽しめる公園になったこと。樹木が大きく育ち花見の人々でにぎわう様子に30数年前の思いや頑張りが実を結んだことをHさんとNさんはとても喜んでいました。私たちには、この様な歴史があったことを事実として伝える役割があるとあらためて思いました。昔々の同志が30数年前をしみじみと語り合い、現在の成果を喜び合う場面に立ち会うことができた貴重な時間でした。慎通

祝 合格！

March



09年1月末 ななくさの関係者3名が国家資格受験にトライしました。代表の中島氏が社会福祉士、スタッフ2名が介護福祉士を受験しました。どちらも同じ日に受験し、3月31日、同じ日の発表。3名とも見事合格！懸けた思いの重さを知っています。頑張って勉強したことでも知っています。一生懸命な思いは通じるのだと見せつけられたような気がします。3名の方の頑張りに敬意を表し、心からおめでとうを贈りたいと思います。本当におめでとうございます。 事務長

訃報とどく 悲しみの別れ

4月初め、続けて悲しい知らせが届きました。5日、1年8か月前に入院されたHさん、7日、昨年入院されたHさん、お二人とも元利用者さんです。8日の朝には、服薬介助のため訪問したお宅で利用者のKさんをお風呂で発見、死亡を確認するという悲しい出来事がありました。短い間に3名の方が亡くなりました。介護の現場では避けて通れない事だとは言ってもやはりやりきれない気持ちになります。懸命に支援をしてもどうにも出来ないこと。無力さを感じ悲しみが深ります。

それでもその人たちを支えてきたことを自信に繋げ、悲しみは乗り越えて… ご冥福をお祈りします。職員一同

March

